

令和 6 年度 藤島地域主要事業

藤島地域まちづくり未来事業 【予算額 27,792 千円】

合併の理念である「多様性の発揮」を実現するために、地域振興計画に基づき全市域で地域の特性を活かしたまちづくりが進められてきた。令和元年度より地域まちづくり未来事業が本格的にスタートしたのを機に、地域振興計画が策定され、5年間の取り組みを経て令和6年度より新たな地域振興計画へと変わる。新計画でもこれまでと同様「農業振興」、「ふじのまちづくり」、「くらし」に関わる3つの基本方針を設定するとともに、地域の未来に活力を与え、明るい希望が持てる地域社会を実現しようとする、「藤島地域まちづくり未来事業」を核とする地域振興に資する取り組みを展開する。

令和6年度は以下の3つの基本方針の中で、19の個別事業に取り組む。

○基本方針1 「未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興」

【予算額：6,581 千円】

- ① 有機農業からスマート農業まで多様な米づくりの推進 ➤3 事業
- ② 関係機関の相互連携による技術習得と情報交換への支援 ➤3 事業（再掲）
- ③ 地場産ブランド米の開発支援と販路拡大 ➤1 事業（再掲）
- ④ 園芸作物の推進による複合経営の強化 ➤3 事業（再掲）
- ⑤ 地域資源及び食農教育等を通じたふるさと意識の醸成 ➤3 事業（2 事業再掲）
- ⑥ 産学官連携による地域づくり ➤2 事業

○基本方針2 「歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進」

【予算額：16,562 千円】

- ① 藤島歴史公園「Hisu 花」を活用した藤島地域の魅力発信 ➤3 事業
- ② 「Hisu 花」と東田川文化記念館を中心とする観光拠点化の推進 ➤2 事業
- ③ 東田川文化記念館の利活用の推進と魅力発信 ➤1 事業（再掲）
- ④ 藤棚等の適正な維持管理の推進 ➤4 事業
- ⑤ 伝統芸能の育成と地域コミュニティづくり ➤1 事業
- ⑥ まつりなどの賑わい創出による魅力発信強化と地域振興 ➤1 事業

○基本方針3 「くらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築」

【予算額：4,649 千円】

- ① 中学校改築を契機とする藤島文厚エリアの整備推進 ➤1 事業
- ② 安心して子育てできる地域を目指した環境整備 ➤1 事業
- ③ 公共交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系の確立 ➤2 事業
- ④ 健康でいきいきと暮らせるしくみづくり ➤3 事業（2 事業再掲）

（総務企画課）

1 藤島歴史公園関連事業（まちづくり未来事業枠） 【予算額 5,101 千円】

- ・ 藤島歴史公園「Hisu 花」魅力発信事業 【予算額 3,652 千円】
- ・ 藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくり事業 【予算額 300 千円】
- ・ 東田川文化記念館利活用事業 【予算額 438 千円】
- ・ 藤島花咲かせ活動支援事業 【予算額 711 千円】

藤島歴史公園「Hisu 花」をテーマ性のある重要な藤島地域の地域資源と捉え、交流拠点化と賑わいづくりを進める「Hisu 花」ワークショップを令和 6 年度も開催し、本市を代表する冬のイベントとなった藤島イルミネーションを引き続き開催していく。

また、「見ごたえのあるふじ」の育成に向け、地域に根差した公園づくりを推進するため、藤棚管理ボランティア団体や花壇定植活動を行う市民団体等を支援するとともに、ふじの花まつり期間中のライトアップや、ふじのオフシーズン時（秋から冬場）のイルミネーションの設置などを市民団体や商工業関係団体等とも連携し行い、年間を通した公園の魅力アップを行う。

隣接する東田川文化記念館では、「東田川文化記念館利活用計画」に基づき館内の整備を実施するとともに、歴史的価値の理解を深める講座等を開催し、地域住民の文化意識の向上を図る。また引き続き郷土の歴史を研究する団体の活動の支援を実施する。

これらの藤島歴史公園関連事業をとおり、歴史公園一帯を藤島地域の魅力の発信拠点、活動拠点として、誇りと愛着をもって暮らしていける地域づくりを推進する。

2 藤棚の整備事業（まちづくり未来事業枠） 【予算額 3,861 千円】

スポーツ課所管施設となるが、ふじのまちにふさわしい環境整備を図るため、藤島体育館周辺の老朽化した木製藤棚を複数年（R1～R13）かけ計画的に整備する。令和 6 年度は 6 スパン分をメッキ鋼製の藤棚に交換する。

3 長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業（まちづくり未来事業枠） 【予算額 3,217 千円】

公共交通空白地域となっていた長沼・八栄島地区に令和3年6月より地域が運営主体となる地域公共交通の導入が図られた。令和6年度は、本格運行へ移行を図り、引き続きデマンド型タクシーによる運行（4年目）を実施する長沼・八栄島地区デマンド交通運営協議会を支援する。

4 藤島地域公共交通再編事業（まちづくり未来事業枠）【予算額 286 千円】

路線バスエリアであっても公共交通空白地域となっている交通不便地区が多く発生している。既存の路線バスの状況などを踏まえつつ、東栄地区デマンド及び長沼・八栄島地区デマンドの交通網を活かした藤島地域全体の公共交通の再編を検討していく。令和6年度は、住民の利便性を第一に考えた公共交通網を構築する各地区検討会等を実施する。

5 コミュニティセンター修繕（小規模修繕枠）【予算額：2,276 千円】

渡前地区地域活動センター体育館西側雨漏り修繕をはじめ各活動センター修繕を実施する。

6 住民自治組織総合交付金【予算額：18,575 千円（藤島地域防犯灯除く）】

市から自治組織へ交付している複数の補助金等をまとめて交付することで、自治組織にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として交付する。

7 防犯灯事業補助金

- ・自治組織等が負担する防犯灯の新設及び更新に対する補助金。

【予算額：3,684 千円（全市）】

- ・自治組織等が負担する防犯灯の維持管理に必要な経費に対する補助金。

（総合交付金、単独補助金の合算） **【予算額：1,361 千円（藤島地域）】**

8 鶴岡市藤島地域総合防災訓練

鶴岡市地域防災計画に基づき、鶴岡市消防団藤島方面隊が、分団毎に災害発生を想定した訓練を計画し、藤島地域5箇所を会場に防災訓練を実施する。

一方市も、藤島地区の各町内会及び自治振興会と共に、情報伝達訓練及び避難所開設訓練を実施し、災害時における対応の確認と定着を図る。

9 藤島文厚エリア検討事業（まちづくり未来事業枠）【予算額 346 千円】

藤島中学校改築を契機とした文教厚生エリア及び周辺の児童館及び図書館なども含めたまちづくりを進めるため、「藤島文厚エリア整備基本構想」の策

定を進める。

教育施設については「藤島地域教育振興会議（教委主催）」における議論の末、令和5年10月、小学校・中学校施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）整備を基本に検討する方向性が最終報告書の提言として示されている。また同年12月には、教育委員会において藤島中学校が朝陽第五小学校の次の改築対象校に決定されている。

教育施設以外の関連施設についても藤島庁舎が教育委員会や各市長部局と連携して今後の整備方針を定めるものであり、この「整備基本構想」は令和7年度に策定する「小中一貫校整備基本計画(仮)」に反映させていく。

令和6年8月、藤島地域教育振興会議が提言した小学校・中学校施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）の整備について、地域の議論を推進し、藤島地域住民の意向を把握するため「藤島地域小中学校整備検討委員会（教委主催）」が設置された。この会議を受けて各小学校区に懇談会を設置し、地域の方々のご意見を伺っていく。今後、施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）の整備や小学校統合などについて議論が行われる。

（市民福祉課）

10 市民、国民健康保険、年金関係窓口業務

個人番号、戸籍、住民票、印鑑登録、臨時運行許可、埋葬・火葬許可、旅券申請、国民健康保険、国民年金、環境関係など、各種業務について、的確、迅速に対応する。

各種届出に対し、一連の手続きがもれなく行われるよう、来庁の市民に対し、丁寧に対応する。

11 健康づくり、介護予防事業

健康の維持増進を促進するため、健診業務を実施するとともに、受診率の向上に取り組む。また、安全に予防接種を行い、接種率の向上と感染防止を図る。

保健推進員や食生活改善推進員、地域包括支援センターと連携し、町内会、老人クラブ等で健康教室を実施し、講話や運動実技、調理実習等を通じて介護予防活動の推進を図り、いきいきと暮らせる地域づくりを目指す。

12 高齢者、障害者への支援事業

老人クラブ等の活動支援、長寿祝品伝達等、高齢者を対象とした各種事業の実施を通して生きがいくつくりと社会参加を推進するとともに、敬老会事業の支援を行う。

見守りが必要な高齢者に民生委員が訪問する支援事業や、高齢者福祉・介護保険による助成・給付事業を継続して実施する。

また、障害者手帳の交付、補装具の購入、修理に対する支援や、福祉タクシー券又は福祉給油券の交付などを行い、地域のなかで安心して生活できるよう支援する。

令和 6 年度 敬老会実施状況

藤島地区は町内会主催で 5 月から 11 月で開催予定

4 地区は実施済み

東栄地区 5 月 26 日、八栄島地区 6 月 15 日、

長沼地区、渡前地区 6 月 16 日

13 子育て支援事業

[予算額 299,723 千円]

安心して子育てできる環境を確保するため、社会福祉法人「ふじの里」が指定管理者となっている藤島こりす保育園及び藤島くりくり保育園や、学校法人「いなば学園」が指定管理者となっている藤島児童館の円滑な運営を支援する。また、放課後児童クラブ、子育て支援センターとしての施設の活動も支援する。

令和 6 年度 修繕状況（完了したもの）

藤島こりす保育園会議室兼午睡室エアコン更新工事

藤島くりくり保育園乳児室、2 歳児保育室エアコン更新工事

藤島くりくり保育園砂場日除け修繕

藤島児童館ホールカーテン設置

14 藤島斎場管理運営事業

[予算額 10,712 千円]

藤島斎場は、火葬炉 2 基を配置し 1 日に最大 6 体の火葬が可能で、年間 200 件前後の使用があり、藤島地域のみならず鶴岡斎場と共に鶴岡市の火葬業務を担っている。昭和 59 年稼働の施設・設備ではあるが、今後も火葬件数は増加すると見込まれることから、適切な維持修繕を行いながら運営していく。

15 藤島ふれあいセンター管理事業

[予算額 4,875 千円]

藤島ふれあいセンターは、令和 4 年度から中町町内会を指定管理者として管理運営を行っている。（指定期間 3 年間）住民の自主活動を推進し、地域の活性化に資するよう進めていく。

なお、隣接の市場であった普通財産部分は、令和 8 年 3 月末まで株式会社

出羽マルシェに貸し付けている。

16 長沼温泉ぽっぽの湯管理運営事業 **[予算額 88,330 千円]**

長沼温泉ぽっぽの湯活性化事業（まちづくり未来事業枠）

[予算額 800 千円]

長沼温泉ぽっぽの湯は、令和3年度より健康増進施設としてスタートしている。地元主体の長沼温泉ぽっぽの湯運営協議会が指定管理者となり運営を行い、フレイル予防事業を実施するとともに、自治振興会やスポーツ関連団体等と連携し、藤島庁舎各課と一体で利用者拡大の取組を推進する。施設は建設から23年を経過していることから、適切な維持修繕を実施する。

また、活性化事業（まちづくり未来事業）では、子育てを支援する事業等とともに女性や家族連れ向け事業実施により新たな客層を取り込み、利用拡大を図る。

（産業建設課）

17 藤島地域人と環境にやさしい農業推進事業（まちづくり未来事業枠）

[予算額：804 千円]

先進的な有機農業技術の習得により品質向上を図るとともに、有機農産物等の安定生産を図る。

また、有機農産物及び独自認証米について、首都圏でのイベントや有機農業出前授業の開催により交流を強化し、人と環境にやさしい農業の理解促進を図ることで販路拡大に繋げる。

このほか、全農業者を対象に GAP 認証の取得を啓発し、食品安全、環境安全、労働安全等の確保を推進する。

地産地消事業については、野菜の納入組織と連携して学校給食センターへ新鮮で安心な地場産野菜を納入し、地産地消率の向上を図る。

また、子供たちが農業の未来や魅力に関心を持ち、地域への誇りと愛着を育むため、田んぼの生き物調査や有機農業出前授業を行い、循環型農業の必要性や持続可能な環境を守っていく意識を醸成する。

18 藤島農産物元気事業（まちづくり未来事業枠） **[予算額：1,883 千円]**

「藤島農産物元気食楽部」を核とし、生産者と農業関係機関が一体となった農業振興を図り、地域農業の活性化を推進するとともに、研修会や講義等を開催し、後継者の育成を図る。

また、稲作と園芸の複合経営を推進し、認証制度の活用により生產品の均一化を図るとともに、低コスト化や省力化技術等を実証し、農家所得の向上

を図る。

19 藤島歴史公園関連事業（まちづくり未来事業枠）【予算額 3,184 千円】

- ・藤島地域観光拠点魅力アップ事業 【予算額 1,784 千円】
- ・藤島歴史公園案内表示板整備事業 【予算額 1,400 千円】

藤島歴史公園の「ふじ」、国指定史跡に指定された「旧東田川郡役所及び郡会議事堂」を一体的な観光拠点とするため、魅力ある情報発信を行う。また、ふじしま観光協会と出羽商工会などと連携し、地域の観光消費拡大を図り、商工業者の支援に繋げていく。さらに、藤島歴史公園内に案内表示板を設置し、藤島歴史公園と東田川文化記念館の双方の利便性を高めていく。

20 庄内農業高等学校地域連携事業（まちづくり未来事業枠）

【予算額：1,000 千円】

本市農業の人材輩出機関である県立庄内農業高等学校では、地域連携事業を展開し教育機関としての同校の更なる発展と魅力ある学校づくりの取り組みを推進している。

引き続き、ユネスコ食文化創造都市鶴岡の魅力体験事業、農業の成長産業・6次産業化支援事業、農・福連携地域交流農園支援事業、農業コンテスト出品等PR支援事業に取り組むことにより、地域の特性を活かした農業振興と地域づくり、地域活性化と同校卒業生の地元定着の促進を図る。

特に6次産業化支援事業のうち庄農うどんプロジェクトでは、地元商工業との連携や地元産原料使用の検討を進める。また、庄農生の活動の発信強化を図り、同校のイメージ向上と入学者数増加に繋げていく。

21 藤島地域農の魅力拡大事業(まちづくり未来事業枠)[予算額:2,794 千円]

若手農業者美味しい米コンクール（第3回）を開催し、若手農業者のやる気の喚起を図るとともに、鶴岡が良質米の産地というイメージを定着させ米の販売力強化を図る。

また、藤島地域と関係の深い大東文化大学の学生と連携し、首都圏イベントで鶴岡産米のPRを行うとともに、お米をテーマにした動画を配信し、SNS等で拡散することにより鶴岡産米全体のイメージ向上を図る。

この他、地域の魅力あるふるさと寄付金返礼品を発掘、増設することで地域特産物の価値向上と販売拡大を図る。

22 まつり振興事業（伝統芸能祭開催事業含む） 【総予算額：3,890 千円】

- ・「ふじの花まつり」 【予算額：1,300 千円】
- ・「ふじしま夏まつり」 【予算額：1,270 千円】
- ・鶴岡伝統芸能祭（まちづくり未来事業枠） 【予算額：790 千円】

・「ふじしま秋まつり」

[予算額：530 千円]

主要観光事業である「ふじの花まつり・ふじしま夏まつり・ふじしま秋まつり」を開催する。

5 月の「ふじの花まつり」は地域最大のまつりであり、地域外来場者の割合が多いことから、さらに来場者が増えるよう、イベント内容を工夫し、藤島歴史公園・東田川文化記念館を一体的な観光地として一層力を入れて行く。

「ふじしま夏まつり」は、まちづくり未来事業である鶴岡伝統芸能祭と、市民参加型イベントをメインにしている。特に伝統芸能祭は市内全域から保存団体が集まるため、伝統の技を披露する場として、また出演者同士が交流を深める貴重な場となっている。イベントについては、熱中症対策を講じながら内容を充実していく。

11 月開催の「ふじしま秋まつり」は、「つや姫の里の収穫祭」をテーマとし、藁を使った参加型オリジナルイベントや「鶴岡ごはん日本一」など「米の里ふじしま」らしい取り組みを通して「食と農による地域づくり」を広くアピールしていく。

3 大まつりに関しては、商工業者の活動を活発化するために連携を強化していく。

23 建設関連事業

◇ 道路新設改良事業（本所土木課）

- ・ 添川立谷沢線（表層改良）[予算額：6,500 千円]
- ・ 大半田線（側溝整備）[予算額：5,500 千円、電柱移転補償 500 千円]

◇ 道路公共事業（本所土木課）

- ・ 長沼地区冠水対策事業（長沼栄線冠水対策工事）[予算額：25,000 千円]
長沼集落内の冠水被害を防ぐ排水対策工事を継続して実施する。
- ・ 藤島駅線（改良工事）[予算額：12,000 千円、電柱移転補償 3,000 千円]
継続し工事を実施する。

◇ 道路維持事業（まちづくり未来事業枠）[予算額：3,500 千円]

- ・ ふじのまちかど整備事業（25 基の内 5 基）
市道の老朽化した藤棚の修繕を実施する。
（令和 4 年度 6 基、令和 5 年度 5 基を修繕済み。）

◇ 公園管理（まちづくり未来事業枠）[予算額：483 千円]

- ・ 藤島芝生広場藤棚修繕